

プログラム名 (40字以内)	森の人になろうー森と暮らす仕事		
団体名/所属	富士癒しの森研究所 / 農学生命科学研究科		
活動区分	フィールドワーク体験活動	希望する選考方法	書類審査のみ
募集人数	5人	選考対象	大学院学生を含む
活動方法	現地活動のみ		
参加者に求めるもの	特になし		
活動期間	(夏)2024/8/22(木)~ 2024/8/23(金). (冬)2024/12/21(土)~ 2024/12/22(日) 4日間	主な活動予定場所	富士癒しの森研究所
プログラム実施の目的	富士癒しの森研究所の森林管理作業として行っている枯れ木や落ち枝処理、薪の原木づくり、薪割り、落ち葉焚き、草原管理の刈り払い等の作業に参加体験し、新旧の技術を使った森林管理作業を通して伝統的な森林と人間との関わりの文化に触れる。また、森林調査の一つである野生動物観察に参加体験し、森林と動物の関わりにも触れる。		
具体的な内容(800字程度)	<p>富士癒しの森研究所では、地域内における循環的な森林利用を軸とした「癒しの森づくり」を掲げて教育研究フィールドの充実に取り組んでいる。そのための「親しみやすい森林景観に留意した森林管理」は重要な教育研究テーマの一つである。また、「癒しの森」を構成する野生動物の把握と管理も、森林管理上重要な課題の一つである。</p> <p>本プログラムでは、富士癒しの森研究所で行っている森林管理業務(森の仕事)と野生動物調査(森の観察)を夏と冬に分けて教職員と協働して行う。参加者には事前にオンラインによるガイダンスを行い(日程は別途調整)、研究所の取組む活動を疑似体験できる本、動画、ライブ映像等の情報ソースを紹介する。</p> <p>森の仕事は刃物などの道具類を安全に上手に使いこなすことから始まる。現地活動では、基本的な安全講習および道具を使いこなす技術習得も体験してもらう。夏の部は8月22日から23日の1泊2日で、夏季特有の草地管理の芝刈り作業、林内を安全に快適に保つために行う林内の枯れ木や危険木除去などの森林作業を行う。森林管理にともない発生する丸太や枝などは冬場の焚き付けや薪に使い有効活用するが、その準備は夏のうちからやっておかなくてはならない仕事である。さらに、夏の夜間に活動を活性化させる野生動物の観察を行うことで、森林を構成する動植物の理解を深める。冬の部は12月21日から22日の1泊2日で、富士癒しの森研究所のアカマツ林で例年行っている「落ち葉かき」と「落ち葉焚き」による特徴的なアカマツ林の景観管理作業を行う。8月に作った薪原木を使用して薪割りをし、薪で昼食を作るなど通常の生活ではなかなか体験する機会がなく失われつつある森との暮らしに関わる技術や文化に触れる。夏と冬の屋外における森林作業を体験することで、季節ごとに変化する自然の中の暮らしから生まれた日本人の文化にまで思いを馳せることができるだろう。</p>		
【総額】参加するための費用	(夏冬合計) 学部生 ``23,900円 大学院生 ``25,900円 * 山中寮の宿泊料金値上げによって増額する可能性あり		
【内訳】参加するための費用(宿泊費)	(夏冬合計) 学部生 ``6,400円 大学院生 ``8,400円 * 山中寮の宿泊料金値上げによって増額する可能性あり		
【内訳】参加するための費用(交通費)	(夏冬合計) 9,200円		
【内訳】参加するための費用(その他)	食費(夏冬合計)8,300円		
奨励金額(予定)	6,100×2回(夏・冬)= 12,200円		
備考	特になし		
活動に関する関係資料のダウンロードサイト	なし		
応募団体を紹介するウェブサイト等(団体で応募の場合)	https://www.ufa.u-tokyo.ac.jp/fuji/		
この企画に対する担当者(応募団体の参加の有無)	参加する		